

瀬戸連敗せず



試合開始前、瀬戸・高木会長の挨拶を聞く瀬戸軍(左側・旭軍)

旭戦 突き放し26勝20敗

お盆の熱闘 34人奮戦...

お盆恒例の瀬戸協会と尾張旭連盟の対抗団体戦は8月16日(日)、市民公園Aで実施。瀬戸協会員は男女30人参加(旭で4人)。残暑の中、即席ヘアで男子複、女子複、混合複の総合成績を争った。昨年までの最近10年の戦績は瀬戸の7勝3敗。午前9時集合。会長挨拶、両軍紹介のあと全員集合写真。50戦をメドに9時50分、試合開始。予報の最高気温は34度だ



最終戦に臨む瀬戸の高木会長・近藤組(左)と、旭の庄原会長・森田寛組(右) 結果は7-6(6)で瀬戸辛勝

◆開会の辞Ⅱ「この大会、第1回参加の第1世代から、城山コート知らない第4世代まで。ビール飲みながらの「よき時代」もありました。50回も間近、永く続けたいですね。昨年負けましたから連敗はしません！」

◆開会の辞Ⅲ「暑い中、両軍ともお疲れさまでした。瀬戸の26勝20敗、何とかホームで2連敗は免れました。旭・城山コートのオムニ化が実現した折にはぜひ呼んで下さい。喜んでみんなが伺います！」

1974年スタート 40年超す歴史

◆瀬戸旭の対抗戦は1974年5月が第1回。会場は旭中学。以後中断期もあったが40年以上の歴史を持つ。旭・城山公園と瀬戸・東公園の交互開催だったが、瀬戸市民公園オムニ化以降は市民公園Aで開催。勝敗よりもあくまで交流・親睦が主目的。

年	瀬戸	旭
2000年	▲瀬戸21勝21敗	
2001年	○瀬戸23勝20敗	
2002年	○瀬戸23勝19敗	
2003年	<雨でお流れ>	
2004年	○瀬戸25勝14敗	
2005年	●瀬戸7勝9敗	
2006年	●瀬戸14勝22敗	
2007年	○瀬戸24勝15敗	
2008年	○瀬戸21勝18敗	
2009年	○瀬戸26勝21敗	
2010年	○瀬戸28勝22敗	
2011年	○瀬戸26勝23敗	
2012年	○瀬戸26勝24敗	
2013年	○瀬戸19勝16敗	
2014年	●瀬戸11勝15敗	
2015年	○瀬戸26勝20敗	

- 【瀬戸軍】(五十音順)
 <男子>
 石川均 磯村和信 稲垣将樹 奥村孝二 加藤隆平 加藤健久 加藤西秀 久西秀夫 久近幸夫 柴田高良 高木順則 高木正和 田中剛 樋口隆一 松元一正 三浦光繁 森川浩幸 八村久光 梅村敏寛 杉森洋
- <女子>
 稲垣陽子 加川育子 四高孝子 富田淳子 高木美津子 富田陸子 津長純子 長福初子 福吉枝子

瀬戸地方 高校新人戦

第25回瀬戸地方高校
生新人大会は7月27、
28の2日間、市民公園
で開催。計264人が参
加。男子単(60人)は加
藤大輔(栄徳2年)、男
子複(53組)は古川敬悟
・物部康次郎組(旭野1
・2年)が優勝。女子単
(33人)は小黒江莉果
(聖霊2年)が2連覇。女
子複(36組)は藤岡萌菜
・山中るな組(長久手2
年)が優勝した。



男子単複の表彰式——左端が単優勝の加藤大輔

<高校生新人大会 成績>

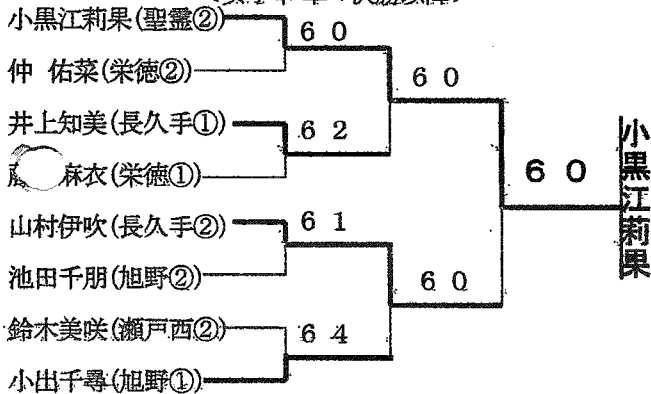
[男子単]
優勝=加藤 大輔
(栄徳②)
準優勝=幸島 丈
(瀬戸西②)
第3位=鈴木 拓夢
(長久手②)
蟹江 祐司
(長久手②)

[女子単]
優勝=小黒 江莉果
(聖霊②)
準優勝=山村 伊吹
(長久手②)
第3位=井上 知美
(長久手①)
小出 千尋
(旭野①)

[男子複]
優勝=古川敬悟・物部康
次郎(旭野①②)
準優勝=鈴木和真・深谷純
平(栄徳②)
第3位=伊藤大樹・鈴木直
人(瀬戸西②)
長山晃志郎・岡本
健太郎(長久手②)

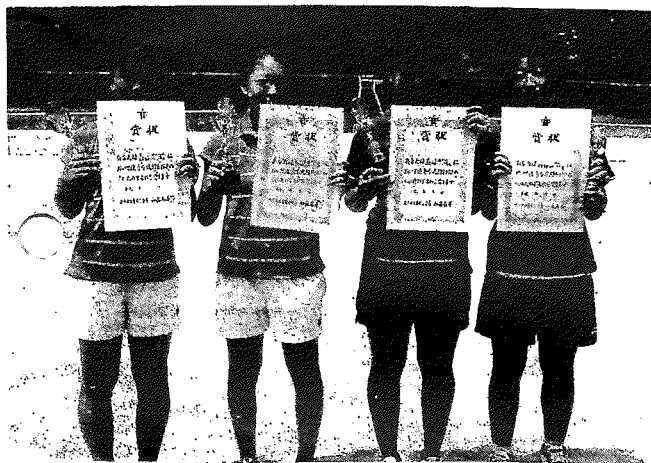
[女子複]
優勝=藤岡萌菜・山中るな
(長久手②)
準優勝=西川理奈・小柴幸芽
平(栄徳②)
第3位=尾崎日菜子・矢野那
奈(長久手②①)
秋田優花・岩田留実
(旭野②)

<女子単 準々決勝以降>



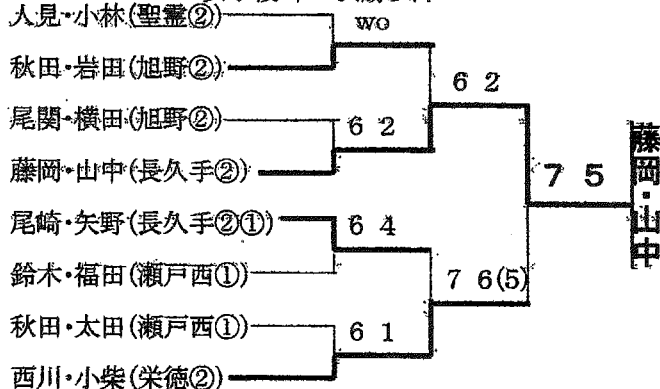
[3決] 井上7-5 小出

女子複 藤岡・山中V



女子複優勝の藤岡・山中組⑤と準優勝の西川・小柴組⑥

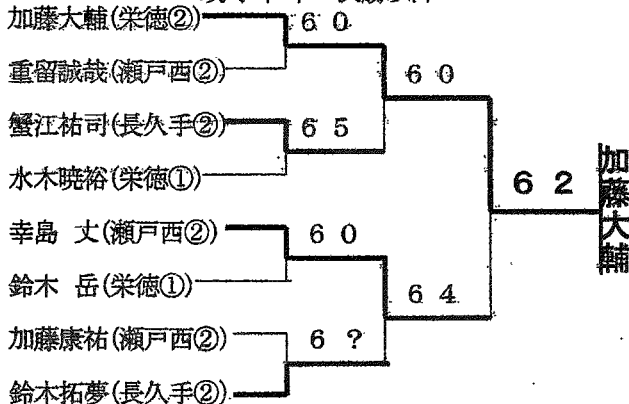
<女子複 準々決勝以降>



[3決] 尾崎・矢野 6-3 秋田・岩田

男子単・加藤 V 女子・小黒 聖霊 が連覇

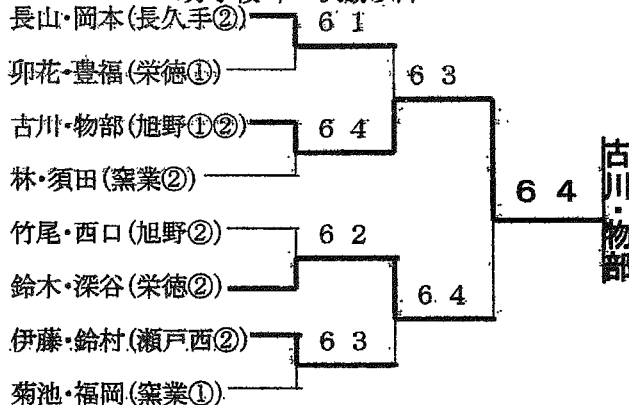
<男子単 準々決勝以降>



[3決] 鈴木6-1 蟹江

男子複は古川・物部

<男子複 準々決勝以降>



[3決] 尾崎・矢野 6-3 秋田・岩田

左腕、安定したスピ
ン
男子単、加藤大輔(幸島)の
決勝は、前年準優勝のサウス
ポール・加藤がスピンを効かせ
た確実なストロークを軸に終
始リードを保ち、6-1、2で押
し切った。
男子複は旭野の古川・物部
組が栄徳の鈴木・深谷組に6
-4で競り勝って優勝。
失ゲーム1 小黒庄勝
女子単は前年女王・小黒が
初戦から5試合を失ゲーム
わずかに、決勝も長久手・山
村に完勝し大会2連覇を達
成した。
女子複決勝は長久手の藤
岡・山中組が栄徳の西川・小
柴組に7-5で辛勝してV。

行事日程

★ナイターテニス教室

あと8月22日、29日の土曜2回。午後6時～9時。市民公園A。予備日＝9月5日、12日。

★第10回 100歳ダブルス大会

9月19日(土)午前9時(7時から確保)～午後5時。市民公園A。市内在住在勤者または協会員。男複計100歳・女複計80歳・混複計90歳以上。先着40組。参加費＝1組1,200円(協会員は無料)。受付＝8月17日～9月2日。予備日＝9月26日(日)。8月15日付け広報掲載

★レディースビギナー大会

9月30日(水)午前9時～午後1時。市民公園A。市内在住在勤または協会員女性。初級者向けダブルス。参加費＝1組1200円(協会員無料)。受付＝9月1日～16日。予備日＝10月7日(水)。9月1日付け広報掲載

★秋季大会

10月11日(日)午前9時～午後7時。市民公園A・B(午前7時から可)。市内在住在勤者または協会員。学生不可。男女1部、2部、壮年のダブルス。参加費＝1組1200円(協会員は無料)。受付＝9月1日～23日。予備日＝10月25日(日)。9月1日付け広報掲載

★第5回 高校学年別大会

10月31日(土)、11月3日(火)午前7時～午後5時。市民公園。瀬戸近郊高校生。男女学年別単・複。参加費＝1人800円。予備日＝11月7日(土)

★壮年・レディース大会

11月29日(日)午前9時～午後5時(コートは7時から使用可)。市民公園A。市内在住在勤者または協会員で45歳以上の男子複、40歳以上の女子複。参加費＝1組1,200円(協会員無料)。受付＝10月15日～11月11日。予備日＝12月20日(日)

★協会創立記念大会&総会

12月6日(日)午前9時～午後5時。市民公園A。親睦ダブルス。11時～13時は体育館で総会。はがきで案内。雨天時は総会のみ。昼食付き。

★協会理事会&親睦大会

16年2月14日(日)午前11時～午後1時。午後1時～5時・市民公園で親睦大会。雨天時は理事会のみ。

10月12日(月)祝
体育の日(は秋の森林公園練習会の予定。午前9時から午後5時まではハードコート3個面を申請済み。
例年、協会員らおよそ20人が秋の1日を

10月12日 森林練習会 (予定)

テニス二昧。おやつ、昼食、飲み物持参で楽しく。当日現地集合。ゲーム、練習、クリニクなど自由。遅刻・早退もかまいません。新会員の方、ぜひ参加を。

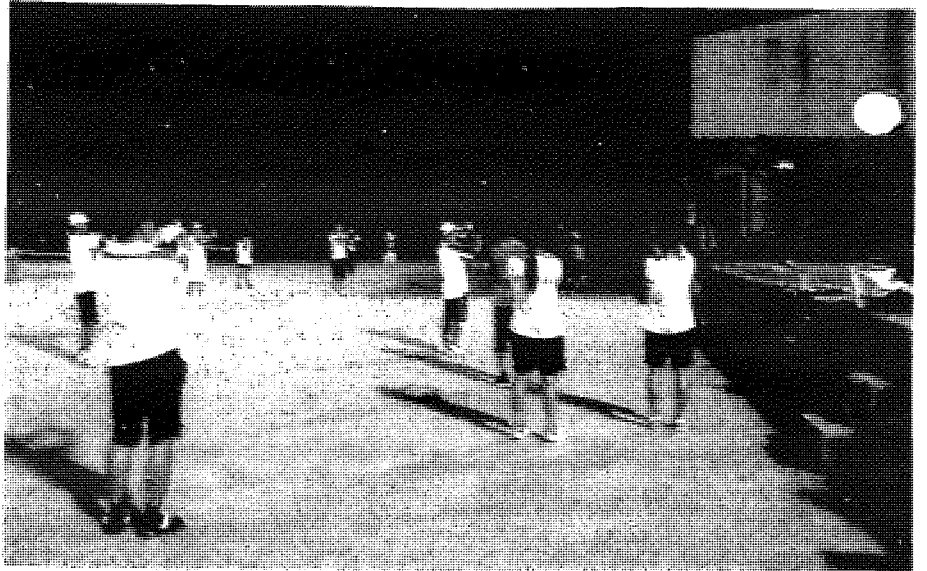
今後のナイター練習日

8月	19日(水)	3個面
	26日(水)	3個面
9月	2日(水)	3個面
	9日(水)	3個面
	16日(水)	3個面
	19日(土)	3個面
10月	7日(水)	3個面
	14日(水)	3個面
	17日(土)	3個面
	24日(土)	3個面

市民公園A 水曜17時、土曜15時

9月当番理事＝森川 繁、八百山浩幸、小川尋美
10月当番理事＝近藤峰夫、林 浩次、加茂冷子

8月8日に始まったナイターテニス教室。練習後、クールダウンの体操で体をほぐす受講者



汗 快 曜 土

「ナイター教室」が8月8日(土)スタート。29日までの土曜4回、市民公園Aで午後6時から3時間。受講者21人。3クラスに分かれ、照明塔の下、いい汗をかくて腕を磨く。

主、中学英語教科書に登場

3年生用 来4月

錦織が来年4月から使用される三省堂の英語教科書の中学3年用に登場する。テニスを始めた幼少期から中学で渡米し、厳しい練習に耐え、スランプやケガを乗り越えて世界の舞台で活躍するまでを描いている。

杉山愛がママに

女子の元トッププロ・杉山愛(40歳)が7月8日、第一子となる男児を出産した。一幸せな気持ちでいっぱい。不安もあるけどじつくり、ゆつくりママになつていきますよコメントした。

杉山は1992年、17歳でプロ転向。ツアー通算6勝を挙げ、2009年に現役を引退。11年11月に会社員と

年会費納入を

継続会員は15年度年会費3000円を忘れずに納入して下さい。大会出場時などに受け付けています。会計担当者が会員証兼領収書を発行します。

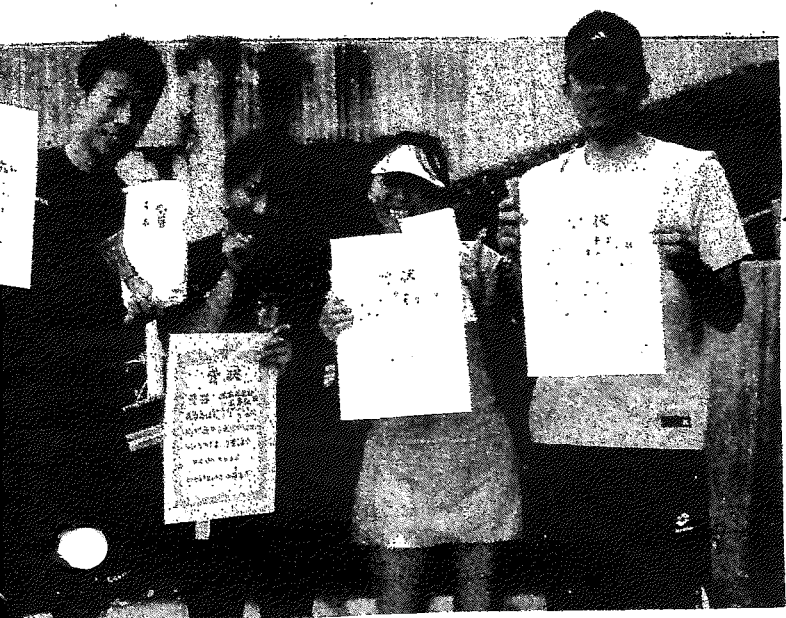
瀬戸信で振り込みできます

瀬戸信用金庫での振り込みもご利用下さい。手数料がかかる場合があります。

店舗№008(共栄支店) 口座番号110269862 瀬戸市硬式テニス協会

結婚した。普通尺のジュニア用 スリクソン斬エケット ダンロップがジュニア用ラケットスリクソン R&V O.C.X 270を新発売。ジュニア用は一般に成人用よりも短く、インパクト時のパワーが落ちやすい。新製品は成人用と同じ長さにしたから、振り抜きやすくなったという。 税別1万8000円。

池本組が初優勝



初優勝した小出真弘・池本麻里組(左)と、準優勝の手島晋治・柴山千沙子組(右)

第21回 ミックス大会

第21回「ミックスダブルス大会」は7月5日(日)、市民公園Aで開催。募集枠満杯の50組(欠場3組)が熱戦。決勝は小出真弘・池本麻里組が手島晋治・柴山千沙子組を逆転、6-3で制して初優勝。3決は足立秀禎・松村渚組が川西健太・川西育子組を下した。2部に替わるコンソレは嶋利男・伊藤奈穂組が富田賢二・田中直子組に7-5で競り勝って優勝した。

手島・柴山組下す

準々決勝の結果は次の通り。
 川西母子 6-2 信永糸
 手島柴山 7-6 下林川口
 小出池本 7-5 岩下高
 足立松村 6-2 森本鈴木
 手島・柴山・下林・川口戦は互いに



3位の足立秀禎・松村渚組(左)と川西健太・川西育子組(右)

<ミックス大会成績>

- 柴山4度目Vならず
 優勝=小出真弘・池本麻里組 (JUEGO)
 準優勝=手島晋治・柴山千沙子組 (丸新)
 第3位=足立秀禎・松村渚組 (チーム愛牧)
 川西健太・川西育子組 (MATC)

譲りずタイプに。さらに6-6から10-10の危詰まる熱戦。準決勝進出を決めた瞬間、手島「よしやー」の雄叫びでカツポーズ。手島・柴山は川西母子を下して決勝。小出池本も足立・松村を退け

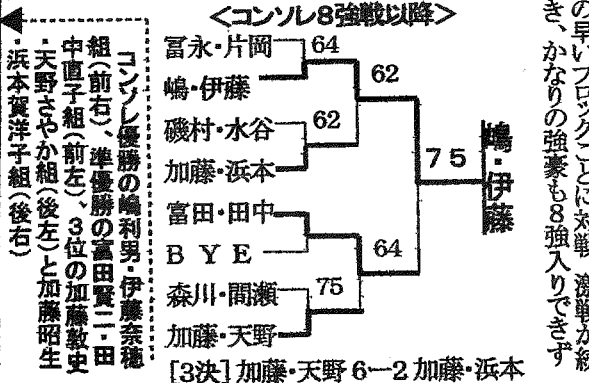
[コンソレ] 嶋・伊藤組V

- 優勝=嶋利男・伊藤奈穂組 (ロング・ロング・ロング)
 準優勝=富田賢二・田中直子組 (ねこだんご)
 第3位=加藤教史・天野さやか組 (ロング・ロング・ロング)
 加藤昭生・浜本賀洋子組 (フリー)

た。決勝は序盤、手島柴山が3-0と先行したが、小出池本が続く6ゲームを連取。鮮やかな逆転で初優勝。柴山は4度目の優勝を逃した。

コンソレも激戦

コンソレは開始を早めるために進行の早いブロックごとに対戦。激戦が続き、かなりの強豪も8強入りできず



コンソレ優勝の嶋利男・伊藤奈穂組(前右)、準優勝の富田賢二・田中直子組(前左)、3位の加藤教史・天野さやか組(後左)と加藤昭生・浜本賀洋子組(後右)

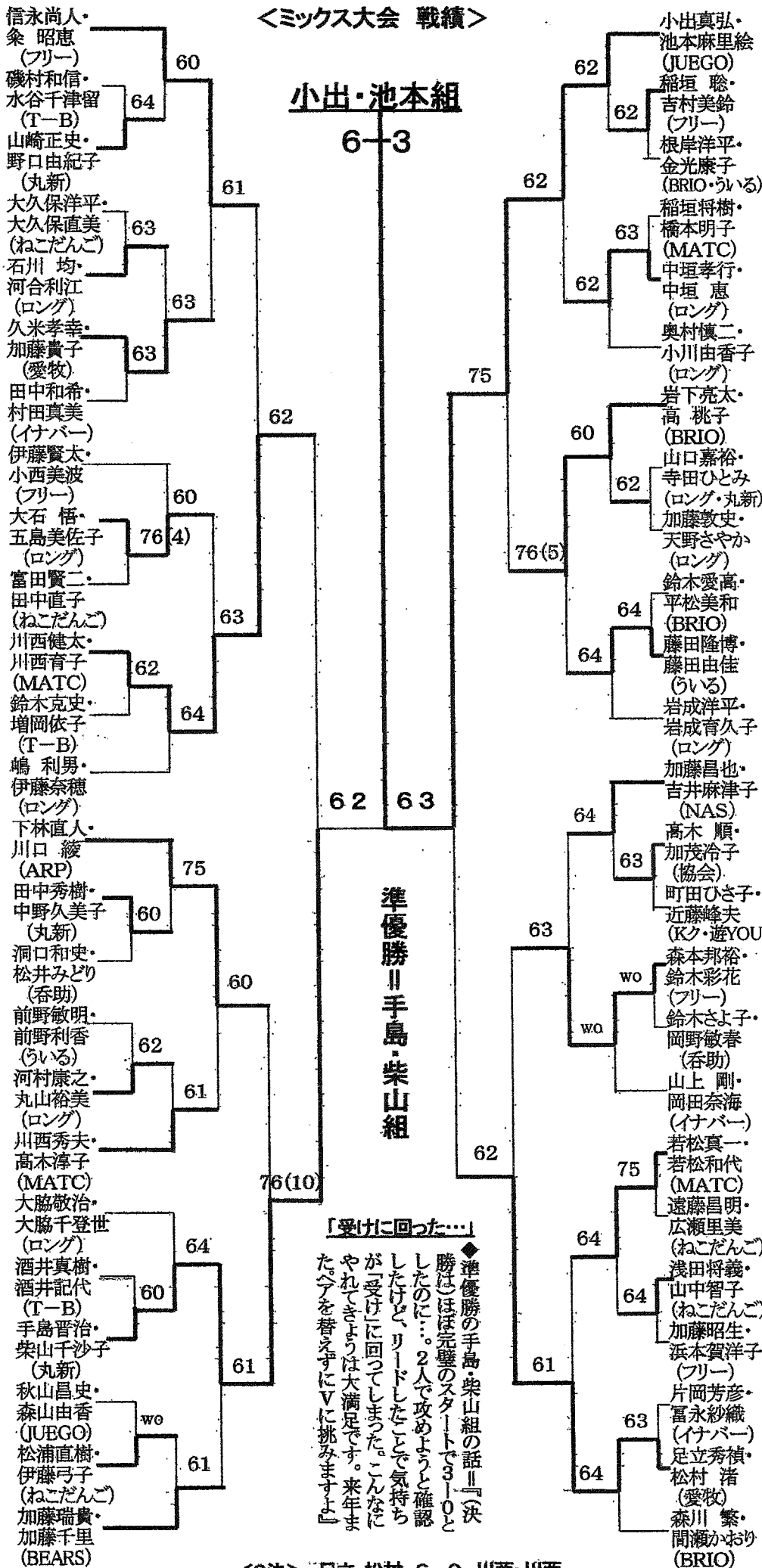
エース賞 J『圭、テニス上手くなったね』 K『ちゃん(チャン)と打ってるからね』(加藤千里さん作)

◆ワイナー賞 瀧本勝成さん作
 K『たまにはタイトルくれよ』
 J『ダメよ、ダメダメ』
 ◆絶妙口コバ賞 松下清代さん作
 K『きまっけミスがなかったね』
 J『一応、男だからねえ』

[混複大会 近年の優勝ペア]

09年 15回	1部=山本尚史・柴山千沙子	2部=加藤稔・木部文恵
10年 16回	1部=山本尚史・柴山千沙子	2部=大脇敬治・大脇千登世
11年 17回	1部=下林直人・高木淳子	2部=河本政義・清谷千佳
12年 18回	1部=河本政義・清谷千佳	2部=岩成洋平・岩成久子
13年 19回	1部=村井清隆・原田沙知	2部=富田一行・水本洋子
14年 20回	森川繁・竹山桂子(統合)	
15年 21回	小出真弘・池本麻里	

<ミックス大会 戦績>



「受けに回った…」

◆準優勝の手島・柴山組の話Ⅱ「決勝はほぼ完璧のスタートで3-0としたのに…。2人で攻めようとして確認したけど、リードしたことで気持ち悪が「受けに回ってしまった。こんな風にやれてきようは大満足です。来年また今を替えずにVに挑みますよ」

<3決> 足立・松村 6-0 川西・川西

小出・

◆次回から増やす？
人気の大会。締め切り日前にエントリーが50組に達し、先着順となった。5月の女子団体戦とともに来季から募集数を増やすことが総会、理事会で検討されそう。

◆婦唱夫随？で奮戦
50組のうち夫婦ペア7組。夫唱婦随？婦唱夫随？大久

保夫妻、前野夫妻、大脇夫妻、酒井夫妻、岩成夫妻は無念の初戦負けでコンソレ回つた。中垣夫妻と藤田夫妻が1、2回戦を勝つて3回戦進出。中垣組は小出・池本組に2-1で屈し、藤田組は岩下・高組にタイムレの末惜しくも5-17で涙を飲んだ。ともにあと1歩及ばず8強入り

◆親孝行力尽きる
川西健太・育子の親子。今が快進撃し8強入り。準々決勝では第1シードの信永・衆組を倒して4強。準決勝で手島・柴山組の攻めに防壁を破られ力尽きた。さすがの孝行息子にも疲労の色は隠せず、3決は動きが重かった。

MATCのもう1つの母子ペアの若松真一・和代組も健闘。初戦、2回戦をともに接戦の末に勝ち上がり、3回戦まで進んだが、足立・松村組に進撃を阻まれた。



『吹き出しコンペ』 ◆豪快

「JK 創作おもしろ会話選」

【例】J=「ユニクロ儲け過ぎだよね」
K=「ボーナス出させましょう」

市郵4強逃す 男子団体・四日市工に惜敗

高校総体(大阪)

▽男子団体2回戦
名経大市郵2-1 光泉滋賀
○安井大門 8-14
○敷 8-16 ×加藤 4-18
▽同3回戦
市郵2-1 東海大菅生(東京)
○安井大門 8-13
×敷 5-18 ○加藤 8-12

高校総体 愛知選手団

▽男子監督 若林勇希(名経大市郵)▽男子選手 敷巧光 安井優貴 加藤大貴 大門祐也 吉満優希 津田厚(以上市郵) 酒井来征 中村悠人(以上名古屋)▽女子監督 仲居勝己(愛知啓成)▽女子選手 佐野結花 鈴木麻緒 伊達芽依 野々木りお 阿部芳美 吉原琴葉 大村遥香 野々山風花(以上愛知啓成) 伊藤日和(稲山女学園) 宮田みほ 山本若菜(名経大高蔵)



よく見て打つ——女子単優勝の小堀

高校女王は小堀桃子(東京・大成2年)。昨年4強、第1シード。シードのことは考えずチャレンジャーの気持ちで戦おうと思っていたという。
決勝の相手は5日前の団体戦で敗れたリュウ(沖縄尚学3年)。「負けたままでは終わりがたくないと、確率の低かったサーブを修正。ストロークは左右のライン際を狙って打ち分けた。リュウの弱点の高いボールも多用した。雪辱の快勝。昨年、準々決勝で体力を消耗して4強止まり。「今年は体面は大丈夫だった」と笑顔。試合巧者の16歳が心技体とも一回り成長した姿を見せた。

小堀V、成長を証明

▽同準々決勝
市郵1-2 四日市工(三重)
○安井大門 2-16、7-16
6-14 橋川 2-16 島袋
×敷 2-16、2-16 鈴木
▽同決勝 西宮甲英学院(兵庫) 2-10 清風(大阪)
▽女子団体2回戦
愛知啓成2-1 高松北(香川)

○佐々木 阿部 8-12
×佐野 5-18 ○鈴木 8-11
▽同3回戦
啓成1-2 秀明八千代(千葉)
×佐々木 阿部 5-18
▽同決勝 相生学院(兵庫) 2-10 京都外大西(京都)

○敷 8-12
▽同2回戦
○加藤 9-18 ○津田 8-15
×酒井 6-18 ○敷 8-16
▽同3回戦
×加藤 0-14 ×津田 6-18
○敷 8-15
▽同4回戦
×敷 8-9 田代(相生学院 兵庫) 6-11、6-12 高村佑樹(東京学館浦安千葉)

◆東海中日決勝結果

(7月12日まで・東山)
▽男子単 松尾(イカイ) 6-1
4、7-16 笹井(フリ)▽男子複 ロンギ・藤木 7-15、7-15 喜多(リコ)・松尾(イカイ)▽女子単 牛島(筑波大) 6-14、6-12 川崎(アリス)▽女子複 久次米・寺見(山梨学院大) 6-13、6-12 品田・川床(リコ)

◆東海中日ジュニア

(7月23日まで・東山)
乙葉 U14 女複 V

▽男子 U18 単 島袋(四日市工) 2-0 頭 U16 単 堀江(関スポ) 2-0 池田(ポルト) U14 単 池田(ポルト) U12 単 井上(三ツクイン) 2-0 ジョーンズ(U12)

U18・千頭準V U16・堀江優勝

8復①島袋 鈴木(四日市工) ②高柳 若山(U16復) ③川島 沖本(名古屋高) ④大窪 松浦(U14復) ①小林 池田(ポルト) ②副田 大田(U12復) ①堤 ショーンズ(三重) ②山田 伊藤(女子) U18 単 ①宮田(名経大高蔵) ②柿浜(U16単) ①伊藤(稲山女学園) ②伊藤(U14単) ①光崎(h2リ) ②トト(三重) ③三重(GTC) U12 単 ①長谷川(木曾川LTC) ②光崎(U18復) ①佐野 鈴木(愛知啓成) ②松本 前川(U16復) ①野々山(愛知啓成) 倉橋(名古屋GTC) ②高市祐 高市智 U14 復 ①光崎(h2リ) ②トト(青木 森林LWC) ③川出 高橋(U12復) ①川松 五十嵐 関スポ(ツ塾) ②長谷川 駒田

◆安井組3回戦惜敗

▽男子単1回戦
○敷 安井 8-4 ×酒井中村 6-8
▽同2回戦
○敷 安井 8-2
▽同3回戦
×敷 安井 6-8
▽同決勝 高村 平山(京都市外大西) 2-16、6-14、6-12 小林 高村(東京学館浦安千葉)

宮田8強ならず

▽女子単1回戦
○伊藤 8-12 ○鈴木 8-13
○宮田 8-10 ○佐野 8-15
○野々山 8-15
▽同2回戦
×伊藤 2-18 ×鈴木 2-18
○宮田 8-10 ○佐野 8-11
○野々山 8-16
▽同3回戦
×伊藤 8-16 ×佐野 5-18

◆野々山 6-18

▽同4回戦
×宮田 4-18 竹本 琴乃(高松北・香川)
▽同決勝 小堀桃子(大成 東京) 6-13、6-13 リュー 理沙(沖縄尚学 沖縄)
※優勝の小堀桃子は右項

宮田・山本組3回戦で涙

▽女子単1回戦
○宮田 山本 8-16 ○佐野 鈴木 8-13 ○大村 吉原 8-15
▽同2回戦
○宮田 山本 8-16 ×佐野 鈴木 6-18 ×大村 吉原 3-8
▽同3回戦
×宮田 山本 2-18
▽同決勝 リュー 理沙(西里 沖縄尚学 沖縄) 6-12、2-2 大石 剣持(早実 東京)



東京有明)に全仏準優勝のルーシー・サファロバ写真が出現する。
サファロバは左利きチエコの28歳。全仏決勝ではセラナ(米)に3-1、6-7、7-16、2-1で敗れた。ウインブルドンは第7シード。3回戦で本紙推薦のステイブンス(米)に苦戦。3-1、6-13、6-1で逆転勝ちしたが、4回戦で新鋭のバンダウエイ(米)に6-7、6-7で惜敗し8強入りで逃した。

圭を全「麵」支援

日清食品、所属契約を5年延長

日本のエースに東京五輪までの強力なバックアップ。錦織は7月、日清食品との所属契約を更新した。12年4月に結んだ契約が満了。新たな契約は20年末までの5年間。契約金は非公表だが、広告代理店関係者は「今の錦織選手なら年間2億は下らない」といって、出来高を加えて10億円を超すか。



抱きたいカップはこれじゃない! 錦織は「4大会が第1目標だけど、日本での五輪にすぐ気が入っている。脂の乗り切る30歳。メダルを狙います」と力強く宣言した。

◆伊藤4強逃す 男子のホルオプフェン選手権(米)7月19日まで、250点準々決勝で伊藤竜馬はスミス(豪)に3-1、6-3、3-1、6-8で惜敗し、16、7-6、3-1、6-8で強入りしたが第2シードのトミック(豪)に1-1、6-4、4-6で敗退。
◆奈良2回戦退 女子のイスタンブル杯で奈良くるみは初戦突破したが2回戦でヒュンゴパウルガリアに敗れた。7月末のバクー杯は1回戦でサブチヌク(ウクライナ)に敗退。

◆伊達リシキ破る 女子の米スタンフォード大会1回戦で伊達公子はリシキ(独)に1-6、7-15、6-11で逆転勝ち

Q1 錦織対ナダル。8月末現在のツアー対戦成績は錦織の何勝何敗?
Q2 ジョコビッチのコーチは? フォアテラットのコーチは?
Q3 高校総体男子単優勝者は? 女子単優勝者は?

ジョコビッチ2年連続3度目V

全英フエデラーに3-1

全英(ロンドン)7月12日まで男子単決勝は昨年の再現。ジョコビッチがフエデラーを3-1で下して2年連続3度目の優勝。錦織圭(25歳)・日清食品は痛めた左足が悪化、2回戦を棄権。女子はセレナ(米)が3年ぶり6度目V。(8面に関連記事)

男子準決勝は上位4人の対決と思われたが、第4シード・パブリンカ(スイス・全仏V)がガスケ(仏)にフルセット1-9で敗退。ジョコビッチ(セルビア)28歳が過去11勝1敗のガスケを7-6、6-4、6-4で下し、過去フエデラー(スイス・33歳)12勝対マリイ(英・28歳)

4大大会9勝目

11勝で接戦が予想されたが、フエデラーの7-5、7-5、6-4。ジョコビッチ連覇かフエデラー8度目Vか。過去フエデラー20勝19敗。4大大会では6勝6敗だが10年以上前はジョコビッチの5勝2敗。第1、第2セットのタイブレークを取り合う接戦。攻め急ぐフエデラーの凡

男子単準々決勝以降

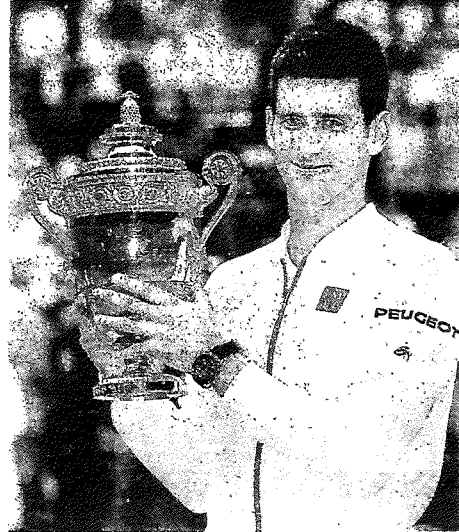
①ジョコビッチ	30	31
⑨チリッチ	30	
21ガスケ	32	7-6 6-6 6-4 6-3
④パブリンカ	30	
③A・マリイ	30	30
ポシュピシル	30	
⑫シモン	30	20
⑩フエデラー	30	

◆ジョコビッチの話＝「史上最高の選手に勝って誇りに思う。家族ができて責任感が強くなった。年齢的にもまだ限界を感じていない」

女子単準々決勝以降

①セレナ	21	20
23アザレンカ	21	
バンダウェイ	21	6-4 6-4
④シャラポワ	21	
⑫ムグルサ	21	21
⑮バシンスキ	21	
21キーズ	20	20
⑩アドワンスカ	20	

◆セレナの話＝「史上最高の選手に勝って誇りに思う。家族ができて責任感が強くなった。年齢的にもまだ限界を感じていない」



フエデラーを3-1で下して2年連続3度目の優勝を果たしたジョコビッチ



表彰式で笑顔のセレナとムグルサ

◆セレナの話＝「ムグルサはパワーも技もある好選手。私はもう証明すべきものはない。十分成績を残した。年齢を重ねて精神的にもタブになっている。来年の私はもっと強いよ」

女子はセレナ

新鋭ムグルサ下す

女子単準決勝でシャラポワ(ロシア)に6-2、6-4で快勝したセレナ(米)と、Aラドワンスカ(ポーランド)に6-2、3-6、6-3で競り勝ったムグルサ(ベネチア)21歳の決勝。ムグルサは初の決勝進出。第1セット、ムグルサが先にブレークしたが生かせず4-6で失う。第2セットも競ったが4-6。セレナは3年ぶり6度目の優勝。4大大会2度目の4連勝で通算21勝目。女子複はヒンギス・ミルザ組、混複はヒンギス・ペス組V。ヒンギス2冠

錦織無念、左足痛で2回戦棄権



1回戦辛勝の錦織。痛めた左足悪化...

錦織は全英前哨戦のグレイ・ウェバーOP(独)準決勝で痛めた左足ぶくらはぎが回復せず、1回戦を競り勝ったが、2回戦対ヒラルド(60位、コロンビア)を棄権した。1回戦、55位のボレリ(伊)とは昨年3回戦で当たり、フルセットの辛勝。今回も6-3、6-7、6-2、3-6、6-3と3時間25分を要した。第2セットのタイブレークを落としたのが響いて長引いた。ケガで練習不足からか、動きが重く、最終セットではスデイカルタ

イム・アウト(MT)を取って、左足の治療を受けた。サーブも速い展開に賭け、14本のサーブエースを奪って競り合いを辛くも制した。勝利を決めた後、ヒラルド自身は悪くない。足の不安な点はあっても言わないと苦笑していたが、「ヒラルドは過去6勝1敗の相手。棄権は苦渋の決断だったのだろう。◆錦織の話＝(試合翌日)練習でかなり痛かった。試合日はできても勝てる状態ではないのでやめることにした。プレーできないのは悔

添田、杉田ら初戦負け

添田豪は強サーブのイスナー(米)に第1セットはタイブレークと善戦したが3本のエースを浴びて0-3のストレート負け。伊藤竜馬を倒して予選から上がった守屋宏紀は第9シード・チリッチ(クロアチア)に完敗。杉田祐一は107位カウチチュ(スロベニア)に第1、第3セットをタイブレークで競ったがストレートで敗れた。

奈良、クビトバに完敗

女子単で57位奈良くるみ(23歳)がリネット(ポーランド)の途中棄権で2年連続初戦突破。最終セット4-3としたところ、リネットが左太ももけが。「相手がかわいそうに終わり方」と同情。2回戦は連覇を狙う第9シード・クビトバ(チエコ)に2-6、0-6の完敗。マリイ(英)戦

土居、悔しい逆転負け

94位・土居美咲が1回戦、第17シード・スピトリナ(ウクライナ)20歳に6-3、3-6、2-6で逆転負けした。第1セットは左腕からの強打で先取したが、相手は手の内を知り昨全米複のパートナー。第2セット以降は緩急で描きおられ、凡ミス4本を重ねた。「とても残念な結果。第2セットから崩れて相手を立ち直らせてしまった」と悔しそう。

伊達組、奈良組2回戦

女子複の伊達公子(44歳)・スキアポネ(伊)35歳組が1回戦快勝。2回戦で第1シードのヒンギス・ミルザ組に0-6、1-6の完敗。奈良・デービス(米)21歳組は中国ペアを下して2回戦へ進んだが、第2シードのマカロワ(ベネチア)のロシアペアに4-6、1-6のストレート負け。青山修子・ボラコバチ(白)組は初戦敗退。ウイリアムズ姉妹欠場で繰り上げ出場した土居・ウオクトリヒテ(シンタイン)組も1回戦で敗れた。

国枝組3連覇ならず

上地組はV2達成

全英車いすの男子複で国枝慎吾・ウデ(仏)組は決勝で敗れ3連覇ならず。3決を制し3位。女子複の上地結衣・ホワイリー(英)組は2連覇。来年から単も行われる予定。

サンティラン晶 複準V

全英シニア男子複で米国選手と組んだサンティラン晶(あきら)が日本選手初の決勝進出。ベトナム・インド選手組に6-7、4-6で敗れ、優勝を逃した。サンティラン晶は豪州人の父、日本人の母を持つ18歳。1800ワット、ガッツリした体からの強いサーブとショットが武器。

単はサンティラン、福田創策、綿貫陽介が初戦突破。綿貫は3回戦で敗退し8強ならず。高橋悠介、山崎純平、女子の村松千裕は初戦負け。

錦織復活V

米・シティOP ツアー10勝目



シティOP優勝！ クリスタルトロフィーにチュウする錦織

錦織は復讐戦のシティ・オープン(8月9日まで、ウィンストン・V5000点、昨年8強)で優勝した。ツアー10勝目。

ヘンダナダル

4大大会14勝、全英2度優勝のナダルが変だ。今年も2回戦敗退。格下102位のブラウン(独、30歳)を逆転できず5-7、6-1、3-



スペインの新星 全英単準V

ガルビネ・ムグルサ

「相手も人間！」新鋭が女王・セレーナに挑んだ。力を出し尽くした。スペイン期待の新星。21歳。世界ランク20位。182センチ、73キ。恵まれた体格を生かした高速サーブと

力強いストロークが持ち味。昨全仏2回戦ではセレーナを倒す大金星。全仏は2年連続8強入り。芝は苦手か、昨全英は1回戦敗退。今大会は技巧派のバシンスキー(スイス)、ラドワンスカ(ポーランド)をハワートと強気の攻めで連破して決勝進出。スペイン勢の全英決勝登場は1996年のサンチェス以来19年ぶり。グラブドンスラム決勝は2000年全仏のマルティネス以来。当人は「自分でもびっくり。人生で最も幸せな瞬間」と喜んだ。ナダルも「多彩な才能を持つ次代の担い手」と太鼓判。決勝後は「やはり世界1の選手でした」と涙ながらに相手を称えた。

4-6、4-1、6-1。2年以降の全英は16強が最高で、連続して100位以下の選手に敗退。この日も「いい日ではなかった。受け入れるしかない。以前のレベルに戻るかどうか引退なんて、あり？」

第2シード。2回戦で95位・ダックワース(豪)を6-7、6-1、6-1で逆転。3回戦は35位・マイエル(アルゼンチン)に6-4、6-1で快勝して8強入り。準々決勝は最速263km/hのサーブ世界記録を持つ62位・グロート(豪)。「今までで一番速いサーブ」に対応し6-4、6-4。準決勝は昨全米決勝の相手・チリッチ(クロアチア)に3-6、6-1、6-4の逆転勝ち。決勝は4月のマイアミ大会で8敗を喫した208位の強サバー(米)を18位のイスナー(米)。第1セットを4-6で落としたが、以降を6-4、6-1で制して優勝。今季3勝目。4250万点獲得。9日付けランクでパブリンカ(スイス)を抜き自己タイの4位に。女子はステイブンス(米)がパブリュチエコワ(ロシア)に完勝してV。錦織はカナダトロフィー杯、米シニア大会(23日まで)の100万点大会を連戦し、全米(乗り込み)

男子・今後のツアー大会

開催地	V点	開幕日
シンシナティ	1000	8月16日～
米ウィンストン	250	8月23日～
全米	2000	8月31日～
フランス・メツ	250	9月21日～
マレーシア	250	9月28日～
中国・深セン	250	9月28日～
北京	1000	9月28日～
楽天ジャパン	500	10月5日～
上海	1000	10月11日～
モスクワ	250	10月19日～
ストックホルム	250	10月19日～
ウイーン	250	10月19日～
スイス・バーゼル	500	10月26日～
バレンシア	500	10月26日～
パリ	1000	11月2日～
ファイナル英	1500	11月15日～

ナダルに勝った

8戦目で初回シヤーズ杯は4強錦織はシティ優勝の翌週、カナダでのロジャーズカップ準々決勝で過去7戦全敗の元王者・ナダル(スペイン)と対戦。6-2、6-4で快勝。初金星を挙げた。この大会、錦織は世界4位で第4シード。2回戦でアンドルー(スウェーデン)、3回戦でゴフィン(ベルギー)を下して8強入り。世界9位のナダルとの4強争い。第1セット、ストローク戦で打ち勝ち、がっちりサーブスキップして6-1、2。第2セットも6-4で押し切った。準決勝でA・マリ(英)に敗退。

ダブルス勝てるコツ

【おわり】

鋭い相手前衛……迷わずクロスにリターン

【解説】劣勢のリターンゲーム。鋭い相手前衛が気になる。レシーバーにプレッシャーが効く。ポーチされる？ストレートに打とうか？ロブで返そうか？…選択肢いろいろ。迷う。ストレートアタックも一策。特に若いカウチでは、このリターンには勇気とペアとの連係が必要。「ネット、アウトしないか。相手前衛に読まれていないか。ボレーされてペアは守ってくれるか」。事前に「ストレート行くかも」、「行っていいよ」のペアとの連係が要る。相手前衛の動きに気をとられてのリターンミスは最悪。自分のイメージしたリターンをきっちり打ちたい。どんなに俊敏な前衛でも絶対に届かない、または届いても決められないコースや高さがある。そこ

にターゲットを想定して集中力を高めよう。<ネット上に目標>どんなにポーチ上手でもクロスアレーに飛ぶリターンを全球つかまえることは不可能。ストレートやロブに迷うよりも、コースと高さを意識して相手前衛につかまらないクロスへリターンしよう。ネット上の空間にターゲットを設定するのがコツ。<ループをかけて>ストレートやロブは決まれば効果的だがリスクも大きい。同じクロスでも山なりに高めにループをかけてあげれば、斜め前方の打点を想定している相手前衛の狙いかわせる。<体の向き>相手前衛が気になるのは、いつの間にかペーサーインと平行に構えてしまっているのでは。サーバーに正対してサーバーに返すイメージを持って相手前衛を視界の隅に追える。

あしけんメモ

○戦後70年・安倍談話。天皇の辞に遥かに劣った。「これでモミたくない」持論を隠し多正面作戦回避。支持率低下挽回策の「新国立・白紙」二辺野古・休戦の同類。戦争法案通す！1点集中作戦。

○前半を締めくくると、シックス大会、グンとレベルアップ。8強入りも大変。やはり女子がしっかりしているのが上がってくる。「テッチー(手島・柴山)」、優勝目前で守りに入って逆転許す。川西母子の3位は大健闘。孝行息子君お疲れさま。

○高校新人戦、暑く熱い戦い。264人が2日間わたる激闘。セルフジャッジの仕方、ルール・マナーの面はイマイチの感。こちらも暑かった対抗戦。瀬戸、連敗はしませんよ。最終戦の光栄に浴した。

○錦織が復讐戦のシティ・OPで優勝。ナダルに初勝利。全米期待膨らむ。全英決勝はジョコビッチ×フェデラー。これで20勝20敗。左表は近年の覇者。女子に新星ムグルサ。月末からの全米にセレーナの年間グランドスラムがかかる。4大大会2度つ獲るとセレーナスラムという。錦織なるか昨年の再現！(近藤)

会報「STK」

協業業務部発行。創刊号は1975年(昭和50年)9月6日付け。98年4月から定期刊行。原則隔月発行。第1号は10月号は梶田俊幸・元理事、2000年以降は理事・近藤峰夫が制作担当。会員に郵送。

◆会員募る！瀬戸市テニス協会は会員募集中。初年度年会費3,000円、入会金1,000円。次年度から年会費のみ。市内在住または在勤者は今年も入会金免除。大会出場原則無料。月4回の協会練習会。年2回の森林公園練習会に無料参加。旭戦出場もOK。

【次号は秋季大会後】

ズラリ 旧4強

年	男子単覇者	女子単覇者
2006年	フェデラー	ジョコビッチ
2007年	フェデラー	ジョコビッチ
2008年	ナダル	ジョコビッチ
2009年	フェデラー	ジョコビッチ
2010年	ナダル	ジョコビッチ
2011年	ジョコビッチ	ジョコビッチ
2012年	フェデラー	ジョコビッチ
2013年	A・マリ	ジョコビッチ
2014年	ジョコビッチ	ジョコビッチ
2015年	ジョコビッチ	ジョコビッチ